

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。)

志摩さんの家から小学校までは、歩いて四分くらい距離である。途中の道はせまくて自動車が通れないほどなので、志摩さんはいつも自転車で移動している。役場までは、三分で行けるのだから、苦にもならないといっている。

その日、志摩さんは役場に行くまえに、智也を小学校につれていってくれた。

校長室に行くと、校長先生が担任の①大内カオリ先生を紹介してくれた。顔が浅黒いのはスポーツをやっているせいだと思った。

「この学校には、東京と違っていじめっ子はいない。意地の悪い子もないから、安心して学校に来るように。友だちはすぐできる」

智也は大内先生につれられて、五年二組の教室に向かった。

「どうだ、幡豆の印象は？」

大内先生は背が高いので、のぞきこむようにして訊く。

「景色がよくて、好きになれそうです」

智也はありのままの印象を口にした。

「景色のいいところに、悪い子どもは育たない。これは校長先生がいつも言っている言葉だ」

②大内先生は五年二組の教室の前まで来ると、咳ばらいをひとつして戸を開けた。すると、騒いでいた教室がしんとした。

と尾崎が言った。尾崎はちょっと目が下がって、愛嬌のある顔をしている。なんだか友だちになれそうな気がしてきた。

「先生の名前知ってるか？」

小さい声で言った。

あ

「そんなこと言ったらおこらないか？」

智也も小さい声で言った。

「おこらない。ために言ってみる」

「やだよ」

そんなやりとりをしていると大内先生が、

「二人で何を話してる？ 正木、話してみろ」と言った。

「あのー、先生のことはカオリちゃんと呼べと言われました」

智也が言ったとたん、教室中が爆笑した。大内先生はおこるかと思っただが、苦笑しているだけで何も言わない。

「正木、おまえは③相撲部に入れ」

突然、先生が言ったので、智也は返事もできなかった。

「うちの学校の相撲部は、県大会で優勝したことがある名門だ」

尾崎が言った。

「きみも相撲部か？」

「そうだよ。顧問は新聞記者の細井さんだ。この人はプロでも通用する。だからうちは強いんだ」

教室に入ると、みんなが声をそろえて、「おはようございます」

と言った。東京の学校では先生が入ってきて知らんぶりだった。智也は教壇に立たされると、

「東京から転校してきた正木智也くん。みんなの仲間に入れてやれ」大内先生はそれだけ言うと、みんなにあいさつしろと智也に言った。

「こんにちは。正木智也です。よろしくおねがいます」

智也はそう言って、べこりと頭を下げた。

「よろしく」

みんなもそろって、頭を下げた。③ざっと見まわしたところ、いじわるそうな顔はなくてほっとした。

智也は前から五番目の席にすわらされた。隣の生徒が、

「おれ、④尾崎五郎。といっても尾崎士郎の親戚じゃない」

みんなが A 笑ったが、智也には何のことかわからない。 B している、松宮良子が言った。

「尾崎士郎は隣の吉良町出身の有名な小説家。人生劇場って知ってる？」

「知らない」

智也が答えると、

「東京の子って何も知らんだね」

とちょっと軽蔑した目で智也を見た。

⑤そんなこと知らなくても、テストには出んから安心しろ」

そこまで言われると、いやだとは言えなくなったので、

「おねがいます」と言ってしまった。

なんだか先生とも、まわりの連中とも仲良しになれそうな気がしてきた。

授業が終わって校庭に出ると、校長先生が待っていた。

「あの山を見ろ」

校長先生が指さす方角を見ると、校舎の裏側に、高さ百メートルくらいの山があった。学校に来たときは気づかなかったが、山の下半分は桜が満開で、思わず息を呑んだ。

「いいだろう。この山は弘法山といって、わたしの自慢の山だ。町のみんなからも愛され、尊敬されている。幡豆の民話にもある。この本を貸すから読んでごらん」

校長先生は、智也に一冊の本をわたしてくれた。題名は『むかしむかし はずの里』、しはと民話サークル編集と印刷してあった。

「幡豆は小さい町だが、民話はたくさんある。民話を読むとこの町が好きになる。この本は、幡豆に伝わる民話を集めたものだが、むかしの人が自然の厳しさとたたかいたが、いかに心やさしく生きたかがわかる」

智也は、「ありがとうございます」と言って、その本を手にした。

(宗田理『スーパーマウスJの冒険』による)

問一 ― 線①「大内カオリ先生」とありますが、この文章でえがかれている大内先生の人物像として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもたちには無関心で、スポーツにだけ興味を持っている人物。
- イ 口数は多くないが、子どもたちをしっかき見つけている人物。
- ウ ちょっとしたことですぐにおこるが、心がやさしい人物。
- エ 何でも子どもたちといっしょにやろうとする積極的な人物。

問二 ― 線②「大内先生は五年二組の教室の前まで来ると教室がしんとした」とありますが、この時の智也の気持ちとして最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 大内先生の言いなりになっている子どもたちに失望している。
- イ 明日から教室でさわがないようにしよう決心している。
- ウ 大内先生がとてもこわい先生だとわかりおびえている。
- エ 大内先生に敬意を示している子どもたちに感心している。

問三 ― 線③「ざっと見まわしたところ、いじわるそうな顔はなくてほっとした」とありますが、この時、智也が考えていたことを説明した次の文の□にあてはまることばを、本文中から指定の字数で探し、書きぬきなさい。

このクラスには、東京のクラスにいたような□(五字)はいないかもしれない、と考えている。

問七 本文中の□あには、次の四つが入ります。正しく並べかえて、順序どおりに記号で答えなさい。

- ア 「これから先生を呼ぶときは、カオリちゃんと言え」
- イ 「知ってるよ。大内カオリだろう」
- ウ 「そんなこと間違えるわけないだろう」
- エ 「カオリってカタカナで書くんだけど、男なんだ。間違えるな」

問八 ― 線④「相撲部」とありますが、この相撲部を説明した次の文の□ア・□イにあてはまることばを、それぞれ本文中から指定の字数で探し、書きぬきなさい。

□ア(八字) 人が顧問をつとめる、県大会の優勝経験のある□イ(二字)である。

問九 本文には、次の一文がぬけています。この文が入る適当な場所を探し、直前の五字を書きぬきなさい。

こんなに美しい景色を学校から見るのははじめてだった。

問十 この文章全体の特色の説明として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 会話を多く用いることで、智也とほかの人たちのふれあいをわかりやすく表現している。
- イ 色あざやかな情景の描写を通して、智也の心の動きを細やかに表現している。
- ウ 擬人法や倒置法などの表現技法を効果的に使い、転校してきた智

問四 ― 線④「尾崎五郎」とありますが、尾崎五郎の説明としてあてはまらないものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 正木智也がなんだか友達になれそうだと思った。
- イ 転校生に対しても、すぐにかからかって傷つける。
- ウ ちょっと目が下がって、愛嬌のある顔をしている。
- エ 相撲部に入っている。

問五 □A・□Bに入ることはの組み合わせとして、最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア A そっと B のんびり
- イ A どっと B のんびり
- ウ A そっと B ぼんやり
- エ A どっと B ぼんやり

問六 ― 線⑤「そんなこと」が指す内容として最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 尾崎五郎が尾崎士郎の親戚でないこと。
- イ 尾崎士郎が隣町の出身の有名な小説家であること。
- ウ 東京の子どもが物知りではないこと。
- エ 隣町に人生劇場という劇場があること。

也の不安な気持ちを表現している。

エ 短い文をくり返すことによって文章全体にリズム感をあたえ、新しい町にやってきた智也の喜びを表現している。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。)

エッジワースとカイパーの予想から、およそ四〇年たって発見された、太陽系の遠方の小天体。

今では彼らの名前から、「エッジワース・カイパー・ベルト天体」とよばれています。英語では Edgeworth-Kuiper Belt Object と書き、その頭文字が「EKB」となることから、「えくぼ」というニックネームを使う日本人研究者がたくさんいます。……I

最初に発見された「えくぼ」には、1992QB という仮の名前が付けられました。「1992」は、一九九二年の発見という意味で、「QB」はその年に見つかった小惑星の通し番号です。……II

その後も観測が続けられると、次つぎと「えくぼ」が見つかってきました。そのような「えくぼ」は太陽系の中で、実際にはどのように広がっているのでしょうか？ エッジワースやカイパーが予想したとおり、水でできた天体なのでしょうか？

はじめて「えくぼ」が見つかった年に発見されたのは、1992QB の一つだけでしたが、翌一九九三年には五天体、九四年には二天体、九五年には一三天体が発見され、発見数は毎年ふえていきました。

①なぜ発見される数が、年を追うごとにふえたのでしょうか？ ひとつには、「えくぼ」がほんとうにあるとわかったことで、多くの天文学者が観測に参加したためです。それまで「えくぼ」の存在を信じてい

使って、撮影したデータから「えくぼ」を探し出す作業をしました。「えくぼ」は太陽のまわりを回っている小惑星なので、夜空の星全体とはちがう動きをしているはずですね。④そういう星が写っていないかを調べるのです。

二日間のデータから、五個の「えくぼ」を発見することができました。一度に広い夜空を撮影できること、すばる望遠鏡が暗い天体の光まで集められるほど大型であることから、わずか二日の観測日数で五個の「えくぼ」を見つけたのです。

(中略)

「えくぼ」は、どのような物質でできているのでしょうか？ これまでの観測から、おそらく⑤水がこおった氷が表面をおっているのではないかと考えられています。まさに、エッジワースやカイパーの予想どおりですね。

彗星は太陽系の遠く離れたところからやってきます。世界じゅうの天文学者は、「えくぼ」の中の小天体が、なにかの影響で太陽のほうへやってくると彗星になる、と考えています。

「えくぼ」については、まだよくわからないことだらけです。B、すばる望遠鏡のような大型で最新の望遠鏡なら、これまでの二倍以上も遠くにある「えくぼ」でも発見できます。しかし実際には、そのような「えくぼ」はほとんど見つかりません。

太陽系ができたころ、太陽のまわりを回っていたちりが、惑星にまでに成長しなかった小さな天体が「えくぼ」だ、と考えられています。ち

かった人も、探しはじめたにちがいありません。……III

暗くて小さな「えくぼ」まで見つけることができる、より大きな望遠鏡や高性能のCCDカメラを使えるようになったことも、理由にあげられます。②「えくぼ」があるのか、それともないのかがわからなかったころには、使いたくても大型望遠鏡は使わせてもらえなかった、ということもあったのではないのでしょうか。……IV

観測したデータから、コンピュータで「えくぼ」を探すやり方も、どんどん進化していきました。コンピュータの性能がよくなり、データを調べる時間がかからなくなった、ということも理由です。

A 二〇〇三年以降、発見数がじょじょに少なくなっています。これは、「えくぼ」があるかどうかを調べている途中の観測データが、たくさん残っているからです。あと数年して、観測データの分析が進むと、二〇〇三年以降の発見数は、もっとふえるでしょう。

一九九二年からこれまでに、全部でいくつの「えくぼ」が見つかったと思いますか？

およそ一千個です。この中には、③わたしがすばる望遠鏡で発見したのもふくまれています。

二〇〇五年の八月一日と二日に、一度に広い夜空を撮影できるカメラを取りつけたすばる望遠鏡を、「えくぼ」があると思われる方向へと、わたしは向けました。

「えくぼ」から届く光はとてもかすかなため、撮影した直後には、写っているかどうかわかりません。観測を終えると、コンピュータを

りのかたまりは、太陽から離れば離れるほどだんだんと少なくなっていくはずなので、突然「えくぼ」がなくなってしまふ、というのも変ですね。このなぞに対する答えは、まだ見つかりません。

また、「えくぼ」が赤っぽい色をしていることもわかってきました。なぜでしょうか？ さまざまな説を唱える天文学者がいますが、ほんとうのことはわかっていません。近い将来アメリカの宇宙探査機が「えくぼ」の近くへ行き、表面をくわしく調べる予定です。⑥きっと、答えを見つけてくれるでしょう。

このように、現在わかっている太陽系の姿は、エッジワースやカイパーが予想したとおりのものでした。これからの観測によって、だれも予想していないような、さらに新しい太陽系の姿が見つかるかもしれません。

(布施哲治『ふせてつほろ ようこそ宇宙の研究室へ』による。設問の都合上、一部修正している。)

問一 — 線①「なぜ発見される数が、年を追うごとにふえたのでしょうか？」とありますが、その理由としてふさわしくないものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 観測したデータから、コンピュータで「えくぼ」を探すやり方が進化したから。

イ 「えくぼ」まで見つけることができる、より大きな望遠鏡を使えるようになったから。

ウ 「えくぼ」というニックネームが、日本で広く知られるようになったから。

エ 「えくぼ」があることがわかったため、「えくぼ」を探そうとする天文学者の数がふえていったから。

問二 — 線②『「えくぼ」があるのか、それともないのか』とほぼ同じ意味を表すことばを、本文中から八字で探し、書きぬきなさい。

問三 [A]・[B] に入ることばとして最も適当なものを、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア だから イ たとえば ウ ところが エ また

問四 — 線③「わたしがする望遠鏡で発見したもの」とありますが、これについて説明した次の文の [ア]・[イ] にあてはまることばを、それぞれ本文中から指定の字数で探し、書きぬきなさい。

筆者が、 [ア(十三字)] カメラを取りつけたすばる望遠鏡で撮影した、 [イ(七字)] から発見した五個の「えくぼ」。

問八 次のア～エの文のうち、本文の内容に合っていないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一九九二年からこれまでに見つかった「えくぼ」の数は、筆者が見つけた五個をふくむおよそ一千個である。

イ 「えくぼ」から届く光はとてまかすかなため、撮影した直後には、「えくぼ」が写っているかどうかはわからない。

ウ 二〇〇三年以降、「えくぼ」の発見数はじょじょに減っているが、これは残っている「えくぼ」の数が少ないためである。

エ 「えくぼ」がどのような物質でできているかというエッジワースやカイパーの予想は正しかった。

問九 本文には次の一文がぬけています。どこに入れるのが適当ですか。最も適当なところを、本文中のⅠ～Ⅳから選び、記号で答えなさい。

つまり「えくぼ」は、小惑星として分類されています。

問五 — 線④「そういう星」とはどのような星ですか。最も適当なものを、次のア～エから選び、記号で答えなさい。

ア すばる望遠鏡にはまったく写らない星。

イ コンピュータを使って、撮影データから探した星。

ウ 観測データが多数残っているが、まだ「えくぼ」とは判断できない星。

エ 夜空の星全体とはちがう動きをしている星。

問六 — 線⑤「水がおった水が表面をおおっている」とありますが、これとほぼ同じ意味を表すことばを本文中から五字で探し、書きぬきなさい。

問七 — 線⑥「きっと、答えを見つけてくれるでしょう」とありますが、どのような問いに対する答えですか。問いとしてあてはまらないものを、次のア～エから二つ選び、記号で答えなさい。

ア 「えくぼ」が赤っぽい色をしていることはわかってきたが、それはなぜかという問い。

イ 太陽からある距離を離れたところで「えくぼ」が突然なくなってしまうのはなぜかという問い。

ウ ちりのかたまりが、太陽から離れば離れるほどだんだん少なくなっていくのはなぜかという問い。

エ 彗星が太陽系の遠く離れたところからやってくるのはなぜかという問い。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。) なお、著者の宇津木妙子氏は埼玉県の出身です。

寮生は①顔写真入りの応募書類を会社に提出します。私は、<sup>a</sup>まず書類をチェックして皆の名前と顔を一致させるようにしました。また、寮では布団からバケツまで日用品や身の回りの物は全<sup>②</sup>部支給していました。私はそれに<sup>b</sup>すべて名前を書いて直接手渡すことにしました。名前と顔を覚えるためです。

こうして私は二百人<sup>c</sup>全員の<sup>c</sup>名前と顔を覚えて、寮生の顔をみると必ず「〇〇さん」と直接名前呼びかけました。これは効果がありました。どの子たちも心<sup>③</sup>細い思いで寮へやってくるのです。そこへ名前前で呼ばれると、<sup>d</sup>にっこり微笑んでくれるようになりました。

顔を見て名前呼びかけて、「行ってらっしゃい。頑張れよ」と声をかけるのです。そうすると、一カ月も経つ頃になると、元気な挨拶が<sup>④</sup>返って来なくなります。「どうした？」と聞くと、必ず<sup>e</sup>悩みが来ています。仕事のこと、寮のこと、人<sup>⑤</sup>間関係のこと、いろいろあります。お茶菓子を買ってあげて食べながら話して、それで元気になる子もいれば、途中で辞める子もいます。いろいろです。

だから、挨拶は本当に大事なのです。

(宇津木妙子『宇津木魂 女子ソフトはなぜ金メダルが獲れたのか』による)

問一——線①～⑤の漢字の部首名を、それぞれひらがなで答えなさい。

問二——線a～eがかかっている(修飾する)ことばとして最も適当なものを、それぞれア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- |   |            |           |
|---|------------|-----------|
| a | ア 書類を      | イ チェックして  |
| ウ | 皆の         | エ しました    |
| b | ア 名前を      | イ 書いて     |
| ウ | 直接         | エ 手渡す     |
| c | ア 名前と顔を    | イ 覚えて     |
| ウ | みると        | エ 呼びかけました |
| d | ア 微笑んで     | イ くれる     |
| ウ | ように        | エ なりました   |
| e | ア 「どうした？」と | イ 聞くと     |
| ウ | 悩みが        | エ 出ています   |

4 次の①～⑤の慣用句の意味を、後のア～コから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- |   |          |   |        |
|---|----------|---|--------|
| ① | あいづちを打つ  | ② | 油を売る   |
| ③ | 顔が広い     | ④ | へそを曲げる |
| ⑤ | のどから手が出る |   |        |
- ア どうしていいかわからなくなる。  
イ 失敗などをきびしくしかる。  
ウ ほしくてたまらない。  
エ きげんを悪くする。

6 次の①～⑤の各文のA主語、B述語を選び、それぞれ記号で答えなさい。なお、主語や述語にあたるものがないときは、×と答えなさい。

- |   |        |         |         |        |         |
|---|--------|---------|---------|--------|---------|
| ① | ア わたしは | イ 広くて   | ウ すんだ   | エ 川で   | オ 泳いだ。  |
| ② | ア 夕方   | イ 駅で    | ウ 先生に   | エ 会った。 |         |
| ③ | ア 昨日、  | イ 長かった  | ウ 夏休みが  | エ とうとう | オ 終わった。 |
| ④ | ア とても  | イ きれいだ、 | ウ この    | エ 海の   | オ 写真は。  |
| ⑤ | ア ぼくが  | イ 君と    | ウ 会ったのは | エ 昨日だ。 |         |

- オ いろいろな人をよく知っている。  
カ むだ話をして、仕事をなまける。  
キ よくなれてびったりとくる。  
ク 相手の話に調子を合わせて、受け答えをする。  
ケ こうさんする。  
コ 見こみどおりにならない。

5 次の①～⑤のことわざの( )に漢字一字を入れて、ことわざを完成しなさい。

- |   |                |                            |
|---|----------------|----------------------------|
| ① | ( )の上にも三年      | ……何事もがまん強くやっていたら成功すること。    |
| ② | さるも( )から落ちる    | ……どんなに得意なことでもゆだんすると失敗すること。 |
| ③ | ( )のないうらむりは立たぬ | ……原因がなければ、うわさが立つはずはないこと。   |
| ④ | まかぬ( )ははえぬ     | ……何の努力もしなければよい成果は得られないこと。  |
| ⑤ | ( )はわざわいのもと    | ……不用意にしゃべったことがわざわいをまねくこと。  |

7 次の①～⑩の文の——線をつけた漢字は読み仮名をひらがなで、カナは漢字に直して答えなさい。

- |   |                  |
|---|------------------|
| ① | 健康に留意する。         |
| ② | まちがった文を正しく改める。   |
| ③ | 手紙を出しに郵便局へ行く。    |
| ④ | 飛行機を操縦する。        |
| ⑤ | 母校は鉄道の沿線にある。     |
| ⑥ | 小さな子どもがナク。       |
| ⑦ | 森林の中で小鳥がナク。      |
| ⑧ | 健康診断で消化キカンを検査する。 |
| ⑨ | この雑誌の発行はキカンにしよう。 |
| ⑩ | 大そうじでマドをきれいにする。  |

【問題は、ここで終わります】

氏名



2016年度 第1回入試  
昌平中学校入学試験問題  
(1月10日午前実施)

受験番号

得点

# 国語

解答用紙

7		6		5		4		3		2			1		
⑥	①	①	A	①		①		問二	問一	問五	問四	問一	問九	問七	問一
			B					a	①		ア			↓	
										問六		問二		↓	問二
⑦	②	②	A	②		②		b	②					↓	問三
			B											↓	
								c	③					↓	
⑧	③	③	A	③		③				問七			問十	問八	
			B											ア	
										問八					
⑨	④	④	A	④		④		d	④			問三			問四
			B									A			
										問九	イ				問五
												B			
															問六
⑩	⑤	⑤	A	⑤		⑤		e	⑤					イ	
			B												